

**川崎正蔵** 実業家。開港によって巨利を得、維新で新政府から委嘱され、三菱に対抗する造船所のちの(川崎重工業)を創設。  
かわさきしょうぞう  
大塩平八郎乱 1837 = 鹿児島城下で、木綿行商人の長男に生まれる。

**阿部正弘首座** 1845 = 8歳 :  
孝明天皇 ・ ・ 1846 = 9歳 :

**万次郎帰国** ・ 1852 = 15歳 : 父が死去。家計を助けるべく、鹿児島の貿易商浜崎家に奉公に出、  
**ペリ-来航** ・ 1853 = 16歳 :  
**開国開港** ・ 1854 = 17歳 : 長崎支店で外国人を相手にする最年少の貿易商となり、  
**安政大地震** ・ 1855 = 18歳 :

長崎で、外国商館から絹布・更紗などを仕入れ、大坂や鹿児島に輸送・販売、しばしば海路で往復。

**桜田門外変** ・ 1860 = 23歳 :

8月18日政変 1863 = 26歳 : 独立し、大坂で、小間物店を開業、大坂の商品を鹿児島で、鹿児島・長崎の産物を大坂で販売、  
禁門の変 ・ ・ 1864 = 27歳 :  
大きな利益を挙げるようになるが、

**明治維新** ・ ・ 1868 = 31歳 : 維新まもなく、

**初の日刊新聞** 1870 = 33歳 : 鹿児島宛に輸送する大量の商品を積んだ船が暴風雨で沈没したことから、廃業。  
**廃藩置県** ・ ・ 1871 = 34歳 : 上京し、砂糖会社に職を得て働くうち、  
**学問のすすめ** 1872 = 35歳 : 琉球処分に向けて、大蔵省が琉球から租税を徴収する方途の検討を始め、  
**明治6年政変** 1873 = 36歳 : 大蔵省から琉球特産品たる砂糖と上布の調査を委嘱され、東京・琉球間の定期航路や郵便の開設を建議、  
駅通頭前島密らに高く評価されて、川崎手持ちの帆船が琉球向け郵便物の一切を扱うことになった上、日本  
国郵便汽船会社副頭取に就任、政府からの補助金を得て琉球航路を開設するに至るが、

**初の民間工場** 1875 = 38歳 : 日本国郵便汽船会社は経営破綻、三菱商会に吸収合併されるに際し、副社長就任を要請されるも拒否。  
アメリカの海運会社が日本市場を独占しようとしていたのに対抗する民間人として、大蔵省に度々建議、  
**西南戦争** ・ ・ 1877 = 40歳 : 大坂に官糖取扱店を開き、また琉球反物の運送販売で、巨利を得、  
**大久保暗殺** ・ 1878 = 41歳 : 西洋型造船所設立を条件に、東京築地の官有地を借用、政府では松方正義の、民間では森村市左衛門の支  
援による資金の融通も受けて、{築地造船所}を開設。

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 43歳 : 払い下げを受けて、官営兵庫造船所の払い下げを有利にすべく、

**明治14年政変** 1881 = 44歳 : 対岸に{川崎兵庫造船所}を開設。払い下げはなお難航し、

**新体詩抄** ・ ・ 1882 = 45歳 :

**秩父事件** ・ ・ 1884 = 47歳 : 官営長崎造船所は郵便汽船三菱会社に貸与される。

また、両工場間があまりに遠隔であったため、経営に行き詰まるものの、井上馨や松方正義の助力で、

帝国大学始 ・ 1886 = 49歳 : ようやく貸与されることになると、{川崎兵庫造船所}を合併し、また{築地造船所}の全設備も移転、

**国民之友始** ・ 1887 = 50歳 : 結局、極めて有利な条件で払い下げとなり、{川崎造船所}を設立、

以後、艦船の造修、汽かん・諸機械の製造・修理を行い、民間造船業の先駆的役割を果たし、

**帝国憲法発布** 1889 = 52歳 : 第一議会開会と共に多額納税貴院議員に選ばれる。

**帝国議始** ・ 1890 = 53歳 :  
**足尾鉾毒始** ・ 1891 = 54歳 :

**日清戦争始** ・ 1894 = 57歳 : 日清戦争が勃発すると、海軍の要請で、戦地に技師や労働者を派遣して艦船の応急修理を行ない、戦艦や  
兵士輸送のための船舶の国産の必要性が認識されて、{川崎造船所}が飛躍する契機になるが、自らは大病を  
患い、アメリカに留学させていた三男が死去、唯一残っていた次男も急逝してしまう悲劇、妾腹の子を養子  
にするも、経営者になることを拒否される一方、三菱の攻勢が強まってきたことから、資金調達のため、  
**白馬会** ・ ・ ・ 1896 = 59歳 : 株式会社に変更、郷里の先輩松方正義の三男でかつて留学資金を援助した幸次郎を社長に、実妹の子を嗣  
養子川崎芳太郎として副社長に据えると、顧問に退き、

**子規句歌革新** 1898 = 61歳 : {神戸新聞}創刊に関与、

**ピ-ア/国産化** ・ 1900 = 63歳 :

以後、美術品の収集に専念、神戸の自邸内に美術館{長春閣}をつくって楽しみながら、

**日露戦争終** ・ 1905 = 68歳 : 神戸川崎銀行を開設し、監督に就任。

**伊藤博文暗殺** 1909 = 72歳 :

**明治天皇没** ・ 1912 = 75歳 : 没した。